


ごみ減量化・資源化施策の成果と課題

1 ごみ減量化施策

- (1) ごみの分別区分変更（平成23年10月～）
 → 行政による古紙回収の開始
 → プラスチックごみ ⇒ プラスチック製容器包装
- (2) ごみ袋の引換券方式への変更（平成23年10月～）
 → 現物146枚交付 ⇒ 引換券135枚交付
- (3) 資源回収活動事業推進奨励金の単価引き上げ（平成22年4月～）
 → 4円/kg ⇒ 5円/kg
- (4) 事業系ごみ削減施策（平成25年度～）
 → 事業所向け「廃棄物の適正処理ガイドブック」の作成、配布
 → クリーンセンター搬入事業者への減量啓発訪問（約1,600者）


2 施策の成果

(1) 総ごみ量の削減

<平成20年度> <平成26年度>
 40,401t ⇒ 38,209t  5.4%の減少


○参考

人口推移

<平成20年度> <平成26年度>
 119,123人 ⇒ 128,603人  7.9%の増加

※数値はいずれも、10月1日現在

(2) リサイクル率の上昇

<平成20年度> <平成26年度>
 15.5% ⇒ 19.2%  23.8%の上昇

(3) 行政古紙回収量の増加

<平成23年度> <平成26年度>
734t ⇒ 1,291t → 75.9%の増加
※平成23年10月～ 開始

(4) 焼却ごみ量の削減

<平成20年度> <平成26年度>
34,994t ⇒ 33,420t → 4.5%の減少

(5) ごみ袋作成枚数の削減

<平成20年度> <平成26年度>
7,853,000枚 ⇒ 5,445,000枚 → 30.6%の減

(6) 資源回収活動による資源回収量の増加

<平成20年度> <平成26年度>
3,981t ⇒ 4,366t → 9.7%の増加

(7) 事業系ごみ量の削減

<平成20年度> <平成26年度>
15,475t ⇒ 13,876t → 10.3%の減少

☞ 各施策の成果として、
ごみの減量と資源化に繋がっている

3 ごみ処理基本計画減量化目標値と実績

(1) 一人一日当たりの家庭系ごみ排出量の削減

<目標値>

平成20年度実績(536 g/人・日)比

→ 平成27年度 約15%削減 460 g/人・日 (76 g削減)

→ 平成33年度 約20%削減 430 g/人・日 (106 g削減)

※数値は、資源ごみを除いたもの

H26 実績値
439 g/人・日
(97g削減)

(2) 一人一日当たりに換算した事業系ごみ排出量の削減

<目標値>

平成20年度実績(356 g/人・日)比

→ 平成27年度 約10%削減 320 g/人・日 (36 g削減)

→ 平成33年度 約15%削減 300 g/人・日 (56 g削減)

※数値は、資源ごみを除いたもの

H26 実績値
296 g/人・日
(60g削減)

(3) リサイクル率

<目標値>

平成20年度実績(15.5%)比

→ 平成27年度 23% (7.5%増加)

→ 平成33年度 24% (8.5%増加)

H26 実績値
19.2%
(3.7%増加)

4 課題

(1) 焼却ごみの減量

→ 焼却ごみに含まれるもののうち、紙類が多い。

<平成26年度 焼却ごみの種類組成 ※水分を除く> (%)

厨芥類	紙、布	木、竹、 わら類	プラスチック類	不燃物類	その他
4.3	57.4	5.6	29.9	0.6	2.2

(2) リサイクル率の向上

→ 本計画の目標値の達成に至っていない。

(平成27年度目標値 23% > 平成26年度実績値 19.2%)

(3) 事業系ごみの減量

→ 排出量は減少しているものの、総ごみ量に対する割合が全国及び県内平均に比べて高い(平成26年度実績 36.3%)ため、更なる減量化が必要。

○参考

- ・滋賀県内市町平均値(平成25年度) 28.5%
- ・全国平均値(平成25年度) 31.0%

※総ごみ量には、資源回収分は含まない。